

# 令和元年度 事業報告

(平成31年 4月 1日～令和2年 3月31日)

令和元年度は、事業計画に基づき会員各位の協力のもとに学会誌「ダム工学」を発行し、広報活動、学術講演会、研究発表会、講習会、各地区現場見学会、ダムなんでも相談室等を開催し、ダム工学会賞の選定、表彰を行った。また、活性化関連活動として、with Dam★Night2019を東京の外、東北、中部・近畿、中国・四国、九州の各地で開催するとともに、一般の方がダムに関する情報を容易に得られるようダム工学会ホームページを運用した。

調査研究委員会では、7つの研究部会の下、研究活動を行った。ダムの科学（改訂版）を発行した。交流研究事業として、2テーマについて継続、及び1テーマについて新規着手した。「ダム堆砂」に関する検討会を新たに組織して、ダム堆砂対策の促進に関する提言をとりまとめた。令和元年10月に発生した台風19号災害に関して、日本学術会議公開シンポジウムで緊急報告を行った。

会員数は、令和元年度末現在、正会員・シニア会員は812名、学生会員は104名、賛助会員は50社となり、平成30年度に比べて、正会員・シニア会員は19名の増加、学生会員は7名の減少、賛助会員は1社の減少となっている。

各事業の実施については、各委員会、研究部会により着実に行われた。また、会員各位の積極的な活動に支えられた。

## 1. 委員会等活動報告

### (1) 通常総会

令和元年5月16日に通常総会を開催し、平成30年度事業報告及び収支決算、理事選任、監事選任について承認を得るとともに、令和元年度事業計画及び収支予算について報告を行った。

- 第29回 通常総会  
日 時 : 令和元年5月16日 14:00～  
場 所 : 星陵会館 2Fホール  
出席者 : 468名（うち委任状による出席者360名）  
議 題 : 平成30年度事業報告及び収支決算、会計監査報告  
理事選任、監事選任  
報 告 : 令和元年度事業計画及び収支予算  
新任役員等の紹介

### (2) 理事会

以下の通り理事会を4回開催した。

- 第75回 理 事 会  
日 時 : 平成31年 4月26日 13:00～14:30  
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室  
議 題 : 第29回通常総会議案について
- 第76回 理 事 会  
日 時 : 令和元年5月16日 15:00～15:20  
場 所 : 星陵会館 E会議室 (1階)  
議 題 : 会長・副会長の選出について  
顧問の選出について  
ダム工学会表彰委員会委員選出について  
ダム工学会選考委員会委員選出について  
理事の委員会委員委嘱について

- 第77回 理事会
  - 日時 : 令和2年3月24日 14:00~15:30
  - 場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
  - 議題 : 令和2年度事業計画(案)について  
令和2年度収支予算(案)について
  - 報告 : 令和元年度事業執行状況について  
会員数の推移について  
ダム工学会通常総会までの主な日程と予定

### (3) 評議委員会

以下の通り評議委員会を開催した。

- 第40回 評議委員会
  - 日時 : 平成31年 4月26日 15:00~16:00
  - 場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
  - 議題 : 令和元年度 理事推薦(案)について  
令和元年度 監事推薦(案)について  
令和元年度 評議委員(案)について  
第29回通常総会議案について

### (4) 委員会等活動

事業活動を推進するため、企画運営委員会及び各小委員会、編集委員会、調査研究委員会、ダム工学会賞の関係委員会を以下の通り開催した。

#### 1) 企画運営委員会

- 第86回 企画運営委員会
  - 日時 : 平成31年 4月12日 13:30~15:30
  - 場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
  - 議題 : 第29回通常総会議案について
- 第87回 企画運営委員会
  - 日時 : 令和2年2月12日 13:00~15:00
  - 場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
  - 議題 : 令和2年度事業計画(案)について  
令和2年度収支予算(案)について
  - 報告等 : 令和元年度事業執行状況について  
「ダム工学」への論文等の投稿依頼

#### ○ 各小委員会の活動内容

- ① 総務小委員会  
通常総会、理事会、評議委員会及び企画運営委員会の運営に関する企画・立案・実施、会員情報の管理、学会会計(会費の徴収を含む)の報告を行った。
- ② 学術研究発表会小委員会  
特別講演会及び研究発表会の運営に関する企画・立案・実施を行った。
- ③ 講習会小委員会  
講習会の運営に関する企画・立案・実施を行った。
- ④ 現地見学会小委員会  
現地見学会開催に関する企画・立案・実施を行った。

- ⑤ 広報小委員会  
学会及び学会行事の広報に関する企画・立案・実施を行った。また、ホームページの更新、メルマガ配信サービスにより情報提供を行った。
- ⑥ 活性化推進小委員会  
ダム工学会の活性化推進方策の検討や、with Dam★Night 2019、各地区活動・ダムなんでも相談室・若手の会の運営に関する企画・立案・実施を行った。

## 2) 編集委員会

「ダム工学」発行のため、編集委員会を計4回開催した。

- 第118回 編集委員会  
日 時 : 平成31年4月11日  
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室  
議 題 : 学術部門の掲載予定について  
一般部門の掲載予定について
- 第119回 編集委員会  
日 時 : 令和元年7月9日  
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室  
議 題 : 学術部門の掲載予定について  
一般部門の掲載予定について
- 第120回 編集委員会  
日 時 : 令和元年10月15日  
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室  
議 題 : 学術部門の掲載予定について  
一般部門の掲載予定について  
「ダム工学」発行回数の集約化について
- 第121回 編集委員会  
日 時 : 令和元年12月17日  
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室  
議 題 : 学術部門の掲載予定について  
一般部門の掲載予定について  
「ダム工学」発行回数の集約化について

## 3) 調査研究委員会

- 第1回 調査研究委員会  
日 時 : 令和元年7月11日 13:30～  
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室  
議 題 : 事業報告内容の確認(コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、施工、ダム技術史、ダム貯水池課題研究会)  
交流研究事業の状況報告、新規課題について

- 第2回 調査研究委員会
  - 日時 : 令和元年12月25日 13:30～
  - 場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
  - 議題 : 事業報告内容の確認(コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、施工、ダム技術史、ダム貯水池課題研究部会)  
交流研究事業の状況報告、新規課題の採択について

#### 4) ダム工学会賞の関係委員会

- 令和元年度 技術開発賞公開審査会
  - 日時 : 令和2年2月10日 13:30～
  - 場所 : 機械振興会館 B3-2会議室
  - 議題 : 技術開発賞の授賞者選考
  
- 令和元年度 選考委員会
  - 日時 : 令和2年2月25日 13:30～
  - 場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
  - 議題 : 技術賞の授賞者選考  
功績賞、技術功績賞、論文賞、著作賞の各候補者選考
  
- 令和元年度 表彰委員会
  - 日時 : 令和2年3月を4月に延期して実施
  - 会議方法 : 書面会議
  - 議題 : 優秀発表賞、技術賞の授賞者選考経過報告  
功績賞、技術功績賞、論文賞、著作賞の授賞者選考

## 2. 行事活動

### (1) 学術講演会

- 第29回 特別講演会  
日 時 : 令和元年5月16日  
開催場所 : 星陵会館 2Fホール  
講 演 : 京都大学 防災研究所 水資源環境研究センター  
教授 角 哲也 氏  
『平成30年7月豪雨におけるダムの効果とダム操作の課題』  
参加者数 : 116名

### (2) 研究発表会（講習会と合同開催）

- 令和元年度 ダム工学会研究発表会  
日 時 : 令和元年11月21日 10:00～12:00  
開催場所 : 星陵会館 2Fホール  
参加者数 : 約80名  
発表論文数 : 6編  
優秀発表賞 : (優秀発表賞選考委員会での選考)  
独立行政法人 水資源機構 総合技術センター  
田村 和則 氏  
『ダム防災操作支援システムの開発と運用  
～スーパー台風への対応～』

### (3) 現地見学会（CMED会、日本大ダム会議との共催）

- 第45回 ダム工学会現地見学会  
日 時 : 令和元年10月17日～18日  
実施場所 : 雨竜第一ダム、新桂沢ダム、  
参加者数 : 47名

### (4) 講習会（研究発表会と合同開催）

- 令和元年度 ダム工学会講習会  
日 時 : 令和元年11月21日 13:15～16:55  
開催場所 : 星陵会館 2Fホール  
参加者数 : 約80名  
講 演 : 一般財団法人ダム技術センター 審議役  
山口 嘉一 氏  
「GPSを用いたコンクリートダムの変位計測  
ーダム工学会計測管理研究部会成果ー」  
国土交通省 国土技術政策総合研究所  
河川研究部大規模河川構造物研究室長  
金銅 将史 氏  
「ダムの安全を支えるーリスクの認識と最小化ー」  
独立行政法人水資源機構 朝倉総合事業所長  
染谷 健司 氏  
「小石原川ダムにおける新たな技術的取組みについて」

## (5) 活性化関連活動

- 令和元年度 北海道地区現場見学会（北海道土木技術会との共催）  
開催日：令和元年10月4日  
見学場所：平取ダム、日高自動車道 大狩部トンネル  
参加者数：94名
- 令和元年度 東北地区現場研修会  
開催日：令和元年9月24日  
見学場所：成瀬ダム  
参加者数：39名
- 令和元年度 中国・四国地区現場研修会  
開催日：令和元年10月11日  
見学場所：穴内川ダム  
参加者数：20名
- 令和元年度 九州地区現場見学会  
開催日：令和元年10月11日  
見学場所：玉来ダム、立野ダム  
参加者数：18名
- ダムなんでも相談室  
開催日：令和元年8月13日～15日  
開催場所：東京国際フォーラムG棟701  
概要：ダム博士とクイズを通してダムの役割と水の循環を学ぶ対話型の催しと手作り水力発電模型の実演を行った。  
来場者数：2,900名
- 第5回 ダムを知るための若手技術者勉強会  
開催日：令和元年9月9日～10日  
開催場所：川上ダム、比奈知ダム、青蓮寺ダム  
概要：堤体コンクリートを打設中のダム建設現場及び管理ダムの施設等の見学を行うと共に、ダムの基礎知識講座を行った。  
参加者数：17名（学生13名）

- with Dam★Night 2019  
 開催日 : 令和2年6月28日(金)  
 開催場所 : 月島社会教育会館 4階ホール  
 参加者数 : 83名  
 サブテーマ : 「ダム礼賛」

プログラム	
	司会 : 中野 朱美 (日本ダム協会)
18:10	開会挨拶
	ダム工学会副会長 小長井 一男
18:15	夜嘶1 「ダムから始まる!ダムから広がる!学びの輪」
	ダムマイスター 町田 奈桜
18:40	夜嘶2 「ダム陰翳礼賛 ～ダムの美学を追い求めて～」
	常葉大学名誉教授 竹林 征三
	休憩
19:35	夜嘶3 「ダムで辿る、埼玉の水害と湖底の故郷」
	埼玉県立歴史と民俗の博物館学芸員 後藤 知美
20:05	夜嘶4 「プロ直伝!魅せる空撮ダム技法」
	ダム好き編集マン 飯干 洋佑
20:35	夜嘶5 「間近で迫力のあるダムナイトツアー ～人はダムになぜ魅了させられるか～」
	西松建設 横瀬川ダム所長 岩川 真一
21:05	閉会

- with Dam★Night in 仙台 2019  
 開催日 : 令和元年11月8日(金)  
 開催場所 : 東北大学土木101大講義堂  
 参加者数 : 100名

プログラム	
	司会 : 東北放送 TBC 元アナウンサー 若生 哲旺
18:00	開会挨拶
	ダム工学会活性化推進小委員長 川崎 秀明
18:10	夜嘶1 「日本文明とエネルギー -ダムの底力-」
	NPO 法人日本水フォーラム代表理事 兼 事務局長 竹村 公太郎
18:40	夜嘶2 「発電用利水ダムの運用について」
	東北電力(株) 土木建築部 土木建築業務課長 高橋 修
19:10	夜嘶3 「千五沢ダム再開発事業の概要について」
	福島県 土木部 河川整備課 ダム担当 主任主査 小野田慎
	休憩
19:50	夜嘶4 「ダムの魅力を再開発」
	ダムマイスター 星野 夕陽
20:20	夜嘶5 「東北地方におけるインフラ維持管理の取組み」
	東北大学大学院 工学研究科・研究課長補佐(地域連携担当) 久田 真
20:50	閉会

- with Dam★Night in BIWAKO  
 開催日 : 令和元年8月22日(木)  
 開催場所 : ピアザ淡海 3F大会議室  
 参加者数 : 100名

プログラム	
17:40	開会挨拶 ダム工学会会長 門松 武
17:40	1. 58年振りの現象 ～平成30年台風21号における瀬田川洗堰の自然閉門～ 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所 藤井 正明
18:10	2. ダムと健康しが～歩いて学ぶダムのしくみ～ 滋賀県土木交通部流域政策局水源地域対策室 松岡 友香
18:40	3. 琵琶湖疏水の維持管理について 京都市上下水道局水道部疏水事務所 蔵田 勲
19:10	4. 蹴上発電所の歴史 関西電力株式会社水力事業本部京都水力センター 角田 安生
19:40	ダムビンゴゲーム
20:30	閉会挨拶 京都大学 角 哲也
ダム関連パネル展示	
令和元年8月22日(木)15:00～19:00: ピアザ淡海 3F 大会議室前	
スペシャルツアー	
13:00～17:00 旧瀬田川洗堰、宇治発電所石山制水門、 大津放水路(三田川分水施設)、琵琶湖疏水大津閘門	

- with Dam★Night in Kyusyu  
 開催日 : 令和元年11月2日(土)  
 開催場所 : 天神スカイホール・メインホールB  
 参加者数 : 136名

wDN プログラム	
司会: FM 福岡 DJ & パーソナリティー kaede	
15:00	開会挨拶 ダム工学会九州地区連絡会 会長 矢野 真一郎
15:05	来賓挨拶 ダム工学会会長 門松 武
15:10	～講演(1) 昼のダムと夜のダム in さつま町 鹿児島県さつま町 商工観光PR課 下土橋 潤一郎
	講演(2) ダムをVR/ARによって疑似体験してみよう! (株)CTI グランドプランニング 新山 悠紀
	講演(3) 小石原川ダム次世代建設生産システム 鹿島・竹中土木・三井住友特定建設工事共同企業体 小石原川ダム本体建設工事事務所 所長 山脇 健治
	講演(4) 長崎・佐世保の歴史的なダム ダム愛好家 星野 夕陽
16:55	～イベント(1) 2019 九州ダムフォトコンテスト審査発表 応募総数19点 最優秀賞1点 優秀賞1点 ダム工学会九州地区連絡会 wDN 実行委員会 酒井 匠
17:25	～イベント(2) 2019 wDN in Kyushu 「ダム jackpot」 FM 福岡 DJ & パーソナリティー kaede ダム工学会九州地区連絡会 wDN 実行委員会 山田 徹
17:45	閉会挨拶 ダム工学会九州地区連絡会 wDN 実行委員会 委員長 太田 達雄



### 3. 研究活動

#### (1) 研究部会

調査研究委員会の研究部会は、コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、施工、ダム技術史、ダム貯水池課題研究部会の7部門から構成され、各研究部会において研究活動が行われた。

##### ① コンクリートダム研究部会

研究テーマ「ダム管理期間としての第IV期設定」について、竣工後50年以上経過のダム施設を対象に管理データの現状、参考となる報文の内容等を把握した。その上でフレーム的なレベルでの報文案（技術コラム形式）を作成、意見交換を行った。

- 第1回 コンクリートダム研究部会  
期 日 : 令和元年6月13日  
場 所 : (一財)ダム技術センター F会議室
- 第2回 コンクリートダム研究部会  
期 日 : 令和元年12月17日  
場 所 : (一財)ダム技術センター F会議室

##### ② フィルダム研究部会

「我が国のフィルダムの技術的変遷」について、代表ダムを選定する指標、例えばダム形式、新規建設・再開発、適用した設計基準、及び施工方法などを検討した。

- 第1回 フィルダム研究部会  
日 時 : 令和元年11月27日  
場 所 : 日本工営(株)会議室

##### ③ 地質・基礎研究部会

「ダム（堤体、貯水池周辺斜面）の維持管理・再開発における地質調査に関する研究」について、既往文献に基づく事例研究とそのとりまとめを行った。また、新規研究テーマについて検討した。

- 第1回 地質・基礎研究部会  
日 時 : 平成31年4月26日  
場 所 : 日本工営(株) 1階南棟第8来客会議室
- 第2回 地質・基礎研究部会  
日 時 : 令和元年7月29日  
場 所 : 八千代エンジニアリング(株) 17階第1応接室
- 第3回 地質・基礎研究部会  
日 時 : 令和元年12月2日  
場 所 : (株)安藤ハザマ 応接室104
- 第4回 地質・基礎研究部会（現地調査）  
日 時 : 令和2年2月7日～8日  
場 所 : 早明浦ダム

④ 維持管理研究部会

ダム堆砂の活用などについて議論し、資料を収集、整理を行った。また、現地調査を湯田ダム、御所ダム、四十四田ダムにおいて実施した。また、湖外搬出、有効利用、河川還元などの事例、最新の知見の収集、整理を行った。また、堆砂の利用に関する推進方策や課題についてとりまとめを行った。

- 第1回 維持管理研究部会  
日時 : 令和元年5月20日  
場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
- 第2回 維持管理研究部会  
日時 : 令和元年8月23日  
場所 : (一財)ダム技術センター CD会議室
- 第3回 維持管理研究部会(現地調査)  
日時 : 令和元年11月5日~6日  
場所 : 湯田ダム、御所ダム、四十四田ダム
- 第4回 維持管理研究部会  
日時 : 令和2年2月27日  
場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室

⑤ 施工研究部会

平成30年度までに、コンクリートダムの施工時に堤体に発生したひび割れに着目して事例収集と対応策について研究し、失敗事例から学ぶ事例集を取り纏めた成果をダム工学に投稿すべく、寄稿原稿の内容について査読意見を基に修正討議した。

- 第1回 施工研究部会  
日時 : 令和元年11月1日  
場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
- 第2回 施工研究部会  
日時 : 令和元年12月20日  
場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
- 第3回 施工研究部会  
日時 : 令和2年2月17日  
場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室

⑥ ダム技術史研究部会

ダム型式ごとに江戸時代以降の要素技術の進展に伴うダム技術史のとりまとめを行ったうえで、出版に向けた準備に着手した。

- 第1回 ダム技術史研究部会  
日時 : 令和元年6月19日  
場所 : (株)建設技術研究所
- 第2回 ダム技術史研究部会  
日時 : 令和2年1月10日  
場所 : (一財)ダム技術センター F会議室

⑦ ダム貯水池課題研究部会

ダム再生に係わる各種情報の収集及び現状の課題の洗い出しを目的としたアンケートを実施し、当研究部会としての報告書の内容について議論した。合わせて、当部会の下部組織として動画作成ワーキング（座長：ダム工学会角理事）を立上げ、今日的な話題となっているダム操作及びダム環境管理に関して基本的理解を促進するための動画を検討した。

- 第1回 ダム貯水池課題研究部会  
日 時 : 令和元年7月31日  
場 所 : (一財)ダム技術センター F会議室
- 第2回 ダム貯水池課題研究部会  
日 時 : 令和2年2月4日  
場 所 : (一財)ダム技術センター F会議室
- 第1回 動画作成ワーキング  
日 時 : 令和元年9月25日  
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
- 第2回 動画作成ワーキング  
日 時 : 令和元年11月6日  
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
- 第3回 動画作成ワーキング  
日 時 : 令和2年1月8日  
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室

(2) 交流研究事業

「ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究」、「コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊試験に関する研究」の2テーマについて継続した。また、新規テーマとして「ダム下流への土砂供給によって形成される河床地形の物理－生態環境評価手法に関する研究」について新規採択した。

- ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究（継続）  
研究者 法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科  
溝渕 利明教授  
研究フィールド 全国各地域から最近完成した37ダムを選定
- コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊検査に関する研究（継続）  
研究者 首都大学東京 都市環境科学研究科  
大野 健太郎助教  
研究フィールド 国土交通省関東地方整備局 湯西川ダム等
- ダム下流への土砂供給によって形成される河床地形の物理－生態環境評価手法に関する研究（新規）  
研究者 京都大学防災研究所 水資源環境研究センター  
竹門 康弘准教授  
研究フィールド 国土交通省中部地方整備局 小渋ダム等

(3) 「ダム堆砂」に関する検討会

「ダム堆砂」に関する検討会（座長：門松武ダム工学会会長）を新たに組織して、ダム堆砂対策の課題と対策について検討し、ダム堆砂対策の促進に関する提言をとりまとめた。

- 第1回 「ダム堆砂」に関する検討会  
日 時 : 令和元年10月8日  
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
  
- 第2回 「ダム堆砂」に関する検討会  
日 時 : 令和2年1月22日  
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室

#### 4. その他

##### (1) 令和元年台風19号に関する緊急報告会（日本学術会議公開シンポジウム）

令和元年12月、防災学術連携体の令和元年台風19号に関する緊急報告会においてダム工学会角理事（京都大学 防災研究所 水資源環境研究センター 教授）より報告を行った。

日 時 : 令和元年12月24日  
場 所 : 日本学術会議講堂  
主 催 : 日本学術会議防災減災学術連携委員会  
土木工学・建築学委員会、防災学術連携体  
題 名 : ダムの効果、異常洪水時防災操作と事前放流の課題

##### (2) ダムの科学 改訂版

令和元年12月25日、「ダムの科学 改訂版—知られざる超巨大建造物の秘密に迫る—」（著者：ダム工学会 近畿・中部ワーキング）を発行した。

#### 5. 出版活動

##### 学会誌「ダム工学」

令和元年度は、4回の会誌発行を行った。また、令和2年3月号には「ダム堆砂」に関する検討会での検討状況などを報告した。

VOL. 29 No.2 令和元年 6月15日発行

VOL. 29 No.3 令和元年 9月15日発行

VOL. 29 No.4 令和元年12月15日発行

VOL. 30 No.1 令和2年 3月15日発行

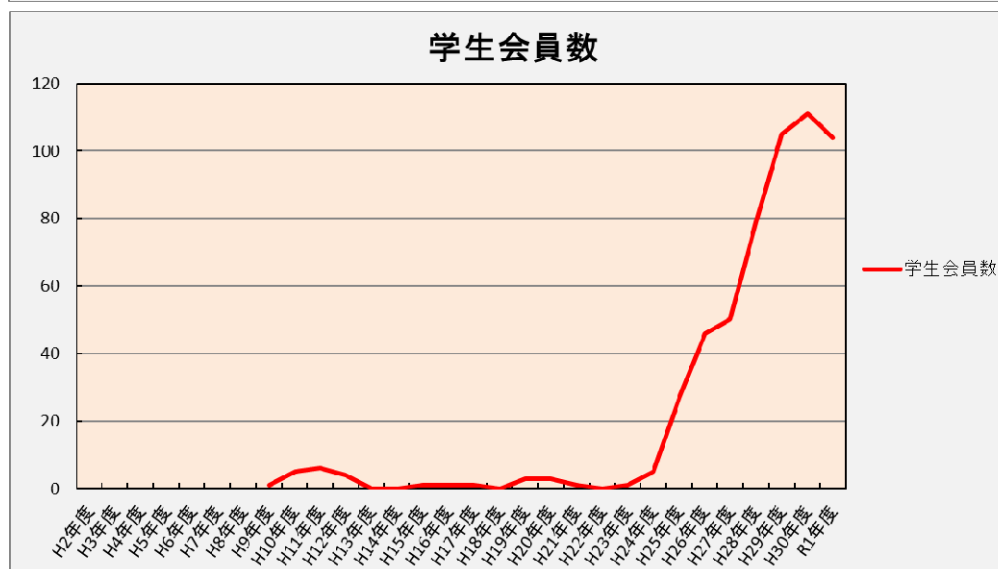
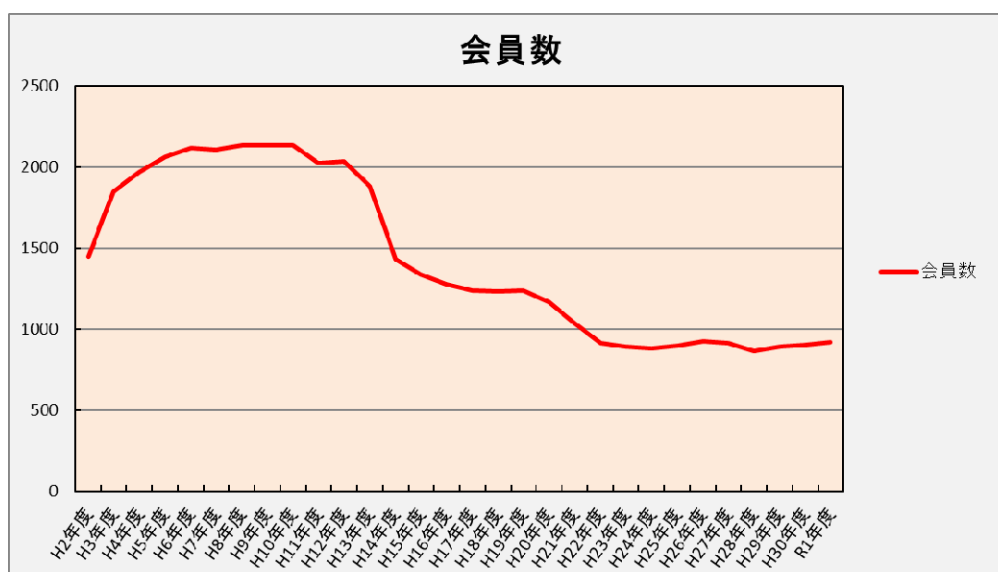
## 6. 会員入会状況

### (1) 会員数等の推移

会員数

※会員数は年度末現在の値

会員種別	平成30年度	令和元年度	備 考
正 会 員	700名	710名	10名増
シニア会員	93名	102名	9名増
学生会員	111名	104名	7名減
合 計	904名	916名	12名増
賛助会員	51社	50社	1社減



### (2) 会員獲得等の主な取り組み

- ・若手の会で「第5回ダムを知るための若手技術者勉強会」を開催し、参加した学生に入会を呼びかけた。
- ・学生会員を対象として通常総会案内時を通じて正会員への移行を呼びかけた。

# 令和元年度 収支決算報告

(平成31年 4月 1日～令和2年 3月31日)

## 議案 2

(単位：円)

### 収入の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 会費収入 (①～④計)	10,950,000	10,570,940	379,060	
①正会員会費	3,600,000	3,710,940	△ 110,940	622口(手数料¥21,060差引)
②学生会員会費	0	0	0	
③シニア会員会費	250,000	510,000	△ 260,000	3万(9口)+4万(6口)
④賛助会員会費	7,100,000	6,350,000	750,000	127口
2. 事業収入 (①～⑦計)	2,300,000	2,531,320	△ 231,320	
①総務小委員会収入	370,000	606,000	△ 236,000	
②研究発表会収入	200,000	216,000	△ 16,000	令和元年度 研究発表会講習会参加費
③現地見学会収入	1,215,000	1,242,000	△ 27,000	現地見学会参加費
④講習会収入	0	0	0	
⑤表彰関係収入	30,000	18,000	12,000	技術開発賞参考資料代
⑥活性化推進収入	485,000	449,320	35,680	
若手の会	150,000	111,320	38,680	ダムを知るための若手技術者勉強会参加費
ダムなんでも相談室	0	0	0	
北海道ブロック	20,000	16,000	4,000	現地見学会参加費
東北ブロック	15,000	23,000	△ 8,000	現地見学会参加費
中部近畿ブロック	150,000	177,000	△ 27,000	with Dam Night in Biwako 参加費
中国四国ブロック	0	0	0	
九州ブロック	150,000	122,000	28,000	with Dam Night in Kyusyu懇親会参加費
With Dam Night 2019	0	0	0	
⑦調査研究収入	0	0	0	
コンクリートダム研究部会	0	0	0	
フィルダム研究部会	0	0	0	
交流研究事業	0	0	0	
維持管理研究部会	0	0	0	
施工研究部会	0	0	0	
ダム技術史研究部会	0	0	0	
ダム貯水池課題研究部会	0	0	0	
交流研究事業	0	0	0	
3. 刊行収入 (①～④計)	1,715,000	1,816,633	△ 101,633	
①会誌一般頒布収入	360,000	348,000	12,000	
②会誌広告料	1,250,000	1,200,000	50,000	
③抜刷別刷収入	75,000	221,680	△ 146,680	
④その他収入	30,000	46,953	△ 16,953	JST和文抄録利用料
4. 図書出版事業収入	30,000	275,809	△ 245,809	フィルダムの変位計測に関するGPS利用マニュアル、ダムの科学[新・旧]
5. 雑収入 (①～②計)	1,671,000	3,270,031	△ 1,599,031	
①補助金収入	1,670,000	3,270,000	△ 1,600,000	大ダム会議(¥50,000) CMEB会(¥200,000) 河川基金(¥520,000) 九州地方計画協会(¥800,000) ダム技術センター(¥700,000) 水源環境センター(¥700,000) 大ダム会議(¥300,000)
②受取利息	1,000	31	969	
小計(1～5計)	16,666,000	18,464,733	△ 1,798,733	
6. 前年度繰越金	16,425,960	16,425,960	0	
合計(小計+6)	33,091,960	34,890,693	△ 1,798,733	

(単位：円)

## 支出の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 事業支出 (①～⑦計)	10,745,000	10,062,578	△ 473,958	
①研究発表会支出	900,000	891,071	8,929	学術研究発表会小委員会 現地見学小委員会
②現地見学会支出	1,400,000	968,242	431,758	(大ダム会議と共同開催)
③講習会支出	250,000	165,231	84,769	講習会小委員会
④表彰関係支出	1,340,000	1,144,589	195,411	表彰・選考委員会 技術開発賞選考会 経費
⑤広報支出	90,000	90,596	△ 596	広報小委員会
⑥活性化推進支出	5,660,000	4,861,039	798,961	活性化推進小委員会
若手の会	1,500,000	1,085,145	414,855	若手技術者勉強会 経費
ダムなんでも相談室	920,000	861,857	58,143	ダムなんでも相談室 経費
北海道ブロック	480,000	379,653	100,347	ダム見学会(支部) 経費 (北海道土木技術会と共催)
東北ブロック	450,000	385,866	64,134	with Dam Night・ ダム見学会(支部) 経費
中部近畿ブロック	490,000	408,190	81,810	with Dam Night・ 「ダムの科学」出版準備会 経費
中国四国ブロック	300,000	275,338	24,662	with Dam Night・ ダム見学会(支部) 経費
九州ブロック	1,270,000	1,250,248	19,752	with Dam Night・ ダム見学会(支部) 経費
with Dam Night 2019	250,000	214,742	35,258	with Dam Night 経費
⑦調査研究支出	1,105,000	1,941,810	△ 836,810	
コンクリートダム研究部会	200,000	864	199,136	残高証明発行手数料
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	80,000	31,819	48,181	現地見学会 経費
維持管理研究部会	65,000	51,991	13,009	現地見学会 経費
施工研究部会	50,000	0	50,000	
ダム技術史研究部会	10,000	756	9,244	残高証明発行手数料
ダム貯水池課題研究部会	100,000	1,801,210	△ 1,701,210	動画作成WG 経費
交流研究事業	600,000	55,170	544,830	交流研究補助金1テーマ分
2. 刊行支出	4,300,000	4,502,221	△ 202,221	
①会誌作成費	4,300,000	4,502,221	△ 202,221	送送料・抜刷別刷料含む
3. 図書出版事業支出	0	0	0	
4. 事務支出 (①～⑩計)	2,000,000	1,975,764	24,236	
①会場費	400,000	420,882	△ 20,882	第29回総会 経費等
②会議費	680,000	668,679	11,321	第29回総会 経費等
③印刷製本費	210,000	142,128	67,872	第29回総会 経費等・ パンフレット作成費
④諸謝金	200,000	117,000	83,000	ダム工学 巻頭言・査読料
⑤消耗品費	0	0	0	
⑥通信費	100,000	185,676	△ 85,676	会費請求書 送付等
⑦支払手数料	60,000	66,982	△ 6,982	WEBバンク・口座振替手数料
⑧旅費交通費	0	0	0	
⑨コンサルタント料	170,000	203,800	△ 33,800	会計顧問報酬・登記簿本手続き代 行手数料
⑩雑費	150,000	125,829	24,171	ダム日本購読料,日本工学会会費 防災学術連携体会費等
⑪源泉徴収費	30,000	44,788	△ 14,788	ダム工学会からの諸謝金に対する 源泉徴収税
5. 予備費支出	100,000	0	100,000	
小計(1～5計)	17,145,000	16,540,563	604,437	
6. 繰越金	15,946,960	18,350,130	△ 2,403,170	
合計(小計+6)	33,091,960	34,890,693	△ 1,798,733	

注1 R1の決算収支 18,464,733 - 16,540,563 = 1,924,170

注2 予算額と決算額の主な差異についてP.17補足説明資料を参照してください。



## 予算額と決算額の主な差異について（補足説明）

### 収入の部

#### 2.①総務小委員会収入

第 29 回通常総会参加者の増による。（第 28 回：86 名、第 29 回：101 名）

#### 3.③抜刷別刷印刷

関西電力様から 118,000 円、大成建設様から 103,680 円の注文があったため大幅増。

#### 4.図書出版事業収入

「ダム科学－改訂版－」初版印税 249,260 円のため大幅増。

#### 5.①補助金収入

現地見学会実施のため大ダム会議 50,000 円。

ダムなんでも相談室実施のため河川基金 520,000 円、CMED 会 200,000 円。

九州ブロック（活性化推進）実施のため、九州地方計画協会 800,000 円。

動画作成 WG 分担金 1,700,000 円。内訳は水源地環境センター700,000 円、ダム技術センター700,000 円、大ダム会議 300,000 円。

### 支出の部

#### 1.②現地見学会支出

地域によって価格変動のある宿泊費・貸切バス代が安かったため、約 430,000 円の減。

#### 1.④表彰関係支出

3 月開催予定の選考委員会が延期となったため減。

#### 1.⑥若手の会

参加者が例年より 15 名程度少なかったため約 400,000 円の減。

#### 1.⑦ダム貯水池課題研究部会

動画作成 WG 経費 1,800,000 円支払いのため。

#### 1.⑦交流研究事業

3 テーマ分の支出設定のところ、1 テーマ（コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊試験に関する研究）しか支出がなかったため約 540,000 円の減。

#### 4.⑥通信費

改選期による委嘱状発送のため約 85,000 円の増。